愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	幼児と言葉		
担当者(Instructors)	鈴木 順子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

幼児期は言葉の基礎を培う時期である。授業の目的は、子どもの基本的な言葉の発達を知ること、また将来、保育者として、子どもに接するために必要な様々なことば遊びや児童文化財について学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	子どもの成長や言葉の発達を理解した上で、児童文化財の意味や言葉遊び等を解説したり、言葉に関する課題を学生自身が考えることにより、今後、必要となる技術的な基礎についても学べるようにする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	幼児と言葉の授業内容と進め方、授業評価等について話す。課題提出	□
第2回	子どもの発達と言葉(1)	0～2歳児の発達と言葉の基礎について学ぶ。学んだことや分かったことを文章としてまとめる。	□
第3回	子どもの発達と言葉(2)	3～6歳児の発達と言葉の基礎について学ぶ。学んだことや分かったことを文章としてまとめる。	□
第4回	児童文化財と言葉を育てる言葉遊び	児童文化財には何があるのかを取り上げて説明する。	□
第5回	地域に伝わる民話や昔話を調べる	学生が住んでいる地域の民話や昔話を調べ提出する。	□
第6回	言葉遊びの内容とその遊びにより育つ力を調べる。また言葉遊びの種類を調べる。	言葉遊びの内容とその遊びにより育つ力を調べる。また言葉遊びの種類を調べ提出する。	□
第7回	言葉遊びの種類と育つ力	授業の振り返りを行う。また第6回で学生が提出した言葉遊びの種類と育つ力を解説する。	□
第8回	絵本を調べる。	自分が子どもに読みたいと思う年齢の絵本を調べる。後期の保育内容(言葉)に繋げる。	□
第9回			□
第10回			□
第11回			□
第12回			□
第13回			□
第14回			□
第15回			□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習として、第1回目に話した授業計画に沿い、授業と課題の下調べを行い、整理をしておく(当日までに1時間程度)。 ・授業後は、授業の資料等を参考に提示された課題の作成を行い、提出する(次回授業時までに1時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・毎回の課題を個々に添削し返却することで、個々へのフィードバックの一助とする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育者になるための知識や技術を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	与えられた課題に対して、自分で考え、調べ、まとめ、感想として表現することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	0%	100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・授業内課題60% ・まとめ課題40%
課題の提出回数と内容で評価する。(学習努力、学習成果)

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	資料の動画を配信する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	太田光洋(著),「保育内容・言葉第三版(保育・教育ネオシリーズ20)」,同文書院,2018年	
2	田島美穂(編),「平成29年告示幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領＜原本＞」,株式会社チャイルド本社,2017年	
3		
4		
5		